



あすかロータリークラブ

Asuka Rotary Club Weekly Bulletin

RI 会長：K. R. "Ravi" Ravindran

地区ガバナー：中澤 忠嗣

会長：澤 光彦 エレクト：吉川 隆博

副会長：松中 久 幹事：森下 秀城

クラブ会報委員長：富士川拓也

Vol. 25 No. 41 (No. 1188) 2016 年 4 月 28 日発行

前回のニコニコ
¥40,000

全期会費預かり分
¥1,665,000

今年度累計
¥3,151,450



新緑に泳ぐ

於：室生湖

撮影者：井上重行

第 1188 回 2016 年 4 月 28 日 (木)

- 1 開会点鐘
- 2 ソング「台湾国歌 三民主義」
- 3 お客様紹介
- 4 会食
- 5 会長報告
- 6 幹事報告
- 7 出席報告
- 8 ニコニコ報告
- 9 委員会報告
- 10 本日の卓話
「広報誌の在り方、雑誌編集について」
株式会社ワールドウェディング堺
同窓会プロ プランナー 佐本徳久 様
- 11 閉会点鐘

1187 回報告 2016 年 4 月 21 日 (木)

於：樫原ロイヤルホテル
熊本地震で被災に遭われた方々へ黙禱を捧げる

ソング

「R-O-T-A-R-Y」

ソングリーダー 岩井 常二君

出席報告

	全会員	免除者	出席者	MU	出席率%
第 1187 回	54	24	44(18)	1	93.75
第 1185 回	54	24	33(17)	9	89.36

ニコニコ

- 吉川 隆博君 17 日の地区協議会には、役員の皆様、本当にありがとうございました。
- 中西 知君 吉川会長エレクトありがとうございました。いよいよ近づいて来ましたが、とりあえず 25 周年に全力投球をお願いします。

- 北岡 忠義君 吉川さん、先日の京都と翌日の大阪と大変お世話になりました。ありがとうございました。
- 野島 誠一君 吉川エレクト、植田ノミニ、先日の京都の夜、あんな事やこんな事までも……、楽しい思いをさせていただき有り難うございました。
- 植田 俊應君 吉川先生、先日の地区協議会のあとの祇園での食事、ごちそうさまでした。
- 武井 仁志君 地区協議会お疲れ様でした。その後の京都の夜は楽しかったです。吉川さん、ありがとうございました。どうやって帰ったか記憶にございません……。気が付けば、八木駅でした。
- 仲川 和馬君 22 回目の結婚記念日に花束いただきまして、妻は喜んでいました。ありがとうございました。
- 高田 雅信君 結婚記念日の花束、ありがとうございました。25 年目を無事に迎えることができました。

会長挨拶

- 「クラブに個性と憧れを」を提唱された中澤ガバナーのもと、本年度、私は「温故知新一出会い・志・感謝」を掲げて活動して参りました。温故知新については、樫原市文化協会会長、戸田守亮様をお願いして、毎月卓話をお願いしてまいりました。今日はその集大成です。戸田先生、本当にお世話になりました。25 周年の式典には是非ともご出席をお願いしたいと思います。
- さて、私は先週の金曜日から日曜日にかけて、社員旅行で九州方面に予定しておりました。予定していた熊本へは、地震の為、急きょ取りやめにし、鹿児島指宿に一泊して帰ってまいりました。15 日の夜中の本震は、社員は大変ビックリしたようですが、私は酔っぱらって何も気づかず爆睡し

4 つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

ておりました。また、帰りの飛行機はボンバルディアで大変怖かったです、みんな無事に帰ってくることができて良かったです。

○創立 25 周年記念式典まで、ちょうど 1 か月となりました。皆様のご支援・ご協力、よろしくお願い致します。

幹事報告

○熊本震災支援について

○4/28 例会のメーキャップについて

○5/2 は事務局は休局

委員会報告

○樫の実会

井村樫の実会幹事

次回案内について

次回の例会

アッセンブリー

創立 25 周年実行委員会

「歴史から見る列強諸国の接近に

我が国はどう対応したか」

樫原文化協会会長 戸田守亮 様

こんにちは。会長の澤さんよりご依頼を受けて、今日の第 8 回まで後援させて頂き、またご清聴いただきありがとうございます。

戦後 70 年が経った中で、家族関係や親子関係、友人関係など色々問題が起こっている現代社会に、今一度先人たちが積み重ねてきた歴史を学ぶことによって考えさせられることが多いのではないかと思います。

我が国に接触してきた列強諸国

①1792 年ロシア使節アダム・ラクスマンは幕府に対して通商を求め開国を迫った。

ラスク万葉、大黒屋光太夫ら漂流者の日本への送還と同時に通商を行うこと計画したが、老中松平定信らは、箱館に廻航させ漂流民の身柄を受け取り、シベリア総監の信書は受理せず通商を望むなら長崎廻航させることを指示。ラスクマンは長崎への入港許可書（信牌）を交付されたが、長崎へは向かわず帰国した。

②1806 年ニコライ・レザノフ（ロシア使節）日本人の樺太（サハリン）択捉を攻撃した。

レザノフはラスクマンが交付された信牌を持参し長崎へ来航し、江戸幕府に交渉を求めたが、幕府は通商を拒絶し続け、日本には武力をもって開国を要求する以外にはないという意見を持つに至り、

樺太や択捉島など北方における日本側拠点を攻撃させた。幕府は、松前奉行を司令官に津軽藩、南部藩、庄内藩、久保田藩から約 3,000 名の武士が徴収され警護にあたった。しかし、これらの軍事情報はロシア皇帝の許可を得ておらず、不快感を示したロシア皇帝は、全軍に撤退を命令した。

③1844 年オランダ国王は開国を勧告してきた。

ヴィレム 2 世が開国を勧める親書を幕府に送ってきたが江戸幕府は拒絶している。

④1807 年蝦夷地を防衛の為、幕府は直轄地にした。

⑤1811 年国後島にいたロシア艦隊船長ヴァーシリー・ゴローニンを逮捕している。

⑥1808 年オランダ艦をよそおったイギリス艦フェートン号、長崎湾に侵入。燃料、食料の要求を強くし、上陸したのでトラブルが続出。当時の長崎奉行は責任をとって自害している。

⑦1808 年以後、イギリス、ロシア、当時の列強諸国が我が国の植民地開国を目指して来航した為、外国船とのトラブルが続出した。

⑧1825 年幕府は異国船打払令を出し、強硬な姿勢に勇気をもって決断した。

⑨1837 年アメリカも漂流民を届けるという口実のもとアメリカ商船モリソン号で開国を迫ってきたが、これを撃退している。

以上のように、かつて日本を開国植民地化を目的に迫ってきた列強諸国に勇気をもって国を守った歴史がある。

万葉集より

春の苑

紅にほふ 桃の花

下照る道に 出で立つととめ

（大伴家持 巻 19 4139）

春の園は紅色に照り輝いている。その桃の花の木陰までも輝いている道に、つと立っている少女よ。家持が越中の国守として赴任していたころの作品。



戸田守亮先生、8 回に亘りご講演

ありがとうございました